

JCI-TC-155A 建設分野へのジオポリマー技術の適用に関する研究委員会
第3回幹事会 議事録

作成日：2015年8月10日(月)

日時：2015年8月10日(月) 10:30～14:00

場所：JCI第4会議室

出席者：(委員長) 一宮, (副委員長) 畑中, (幹事長) 新, (幹事) 合田, 原田,
(WG2 主査) 国枝, (事務局) 柴田

配布資料：K3-1 第2回幹事会_議事録(案)

K3-2 第1回全体委員会_議事録(案)

K3-3 委員名簿

K3-4-1 アンケート集計結果(電子データ)

K3-4-2 アンケート様式

K3-4-3 アンケート結果(委員の関心あるテーマ)

議事

1. 委員長挨拶

一宮委員長より挨拶があった。

2. 第2回幹事会_議事録の確認

新幹事長より、【配布資料 K3-1】に基づいて、第2回幹事会の議事録内容の説明があり、内容について承認された。なお、幹事会資料に関して、資料番号の前に「K」を記載すること、承認された議事録については文責者氏名を削除することを確認した。

3. 第1回全体委員会_議事録の確認

新幹事長より、【配布資料 K3-2】に基づいて、第1回全体委員会の議事録内容の説明があり、一部の修正を行った上で、内容について承認された。なお、全体委員会資料に関しても、幹事会同様に、承認された議事録については文責者氏名を削除することを確認した。また、コンクリートの配合と調合に関しては、JCIに従って「配(調)合」と記載する。

4. 協力委員への参加希望者への対応

7名の協力委員の正式承認までの事務手続きの流れを確認した。また、新たに1名の希望者がいることが紹介され、追加承認のための個人データの提出を求めることとした。

5. ホームページの開設

ホームページについては、本部からの情報が来次第、対応することを確認した。

6. WG活動計画

副査を確定した(WG1:橋本委員, WG2:佐川康貴委員, WG3:合田幹事)。WGメンバーは【配布資料 K3-3, K3-4】を参考にして確定する。WGで取り組む内容は、主査副査が中心となって適宜進める。各委員が所属可能なWGは1つとし、協力委員の配置はWGの活動内容が確定した後に検討することになった。文献収集については、論文集名とキーワードで検

索が可能となるように一覧を作成する。データは、Dropbox にとりまとめることとした。また、幹事と WG 主査間の情報を密にすることを目的に国枝 WG2 主査に幹事に加わっていただくことが提案され、承認された。

なお、WG 毎の検討事項について以下のような意見交換がされた。

【WG1】

- ・専門知識を有する立場の方が理解できる反応メカニズムを示す。
- ・既往の研究でジオポリマーと称されている高炉スラグ微粉末を高アルカリ溶液で反応させた硬化体について、セメント硬化体との組成の相違を明らかにする。
- ・ジオポリマーに関する各種化学分析(XRF, XRD など)の評価について、わかりやすくまとめる。
- ・ジオポリマーの定義に関して、現状では水ガラスや高炉スラグ微粉末といった原料のみで定義すること、化学反応、重合度等で定義することが適切かについて検討する。
- ・既往の研究におけるセメント系、ローマン系などとの比較を行った上で、部分的にオーバーラップした分類とすることも視野に入れるべきかもしれない。
- ・コンクリート系材料に関して、水硬性、気硬性、アルカリ刺激性など硬化機構なども整理しながら、幅広く検討してみてもどうか。

【WG2】

- ・学術的にジオポリマーの物性についてまとめる。なお、すでに汎用性が高いと評価されているセメント系との比較に固執しすぎると、ジオポリマーの長所が薄れる可能性がある。一方で、ジオポリマーの長所だけをとりまとめて短所を明らかにできていないと、ジオポリマーに期待して新たに研究を進める方が失望する場合もあるので注意する。

【WG3】

- ・ジオポリマーの実用例について、国内ならびに海外での事例を収集する。施工については、工場製品に加え、現場施工についてもまとめる。

7. 今後の予定

- (1) 第3回全体委員会（+第5回幹事会）を2016年1月頃に行う。
- (2) 第1回シンポジウムを2016年6月3日(金)に計画する。当日は午前に全体委員会、午後以下の内容でシンポジウムを行う。

13:00-14:20 委員長挨拶+特別講演

14:20-15:00 WG 報告

15:10-17:10 研究発表会(15分(発表10分, 質疑5分)×8件)

その他、以下の点についても検討することになった。

- ・研究成果の海外への発信を目的に、報告書の図の軸や表は英語にする。
- ・既往の論文をリメイクした論文も掲載可とする。
- ・参加費は、テキスト製作費、講師謝礼、講師ならびに委員の交通費、懇親会費が賄えることを考慮して設定する。